

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 10 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, and 法令根拠. Includes details for '一般職非常勤職員任用事業 (教育補助員)' and '学校教育の充実'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes text about supporting children with disabilities in schools.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns for years (27-31) and rows for ①手段, ②対象, and ③意図. Includes indicators like '教育補助員数' and '特に支援の必要な児童生徒数'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing cost breakdown by source (国庫, 県, 地方債, etc.) and personnel costs (正規職員, 述へ業務時間) for 27-31 years.

Table showing internal cost breakdown (事業費の内訳) for 28 and 29 years, including items like '01 報酬' and '09 旅費'.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns for implementation content for 29, 30, and 31 years. Includes a note about recording content and a list of main activities.

事務事業名	一般職非常勤職員任用事業（教育補助員）	事務事業No.	30103000193	所属課	教育指導課
-------	---------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
合併以前に岩瀬地区において実施。学級崩壊の解消対策として県費負担の非常勤講師が配置されたが、次年度の配置がなく、改善されない学級に対し、市単独で補助員を配置した。平成17年4月1日付けで施行された「発達障害者支援法」で、市町村は、その障害の状況に応じ、十分な教育を受けられるようにするため、適切な教育的支援、支援体制の整備等措置を講じることとされた。また、普通交付税においても算入されている。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
多くの学校より配置の要望がある。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
現状維持	教育指導課の学校訪問や児童生徒幼児の状況確認を定期的に行い、学校・幼稚園の実情を把握し、適正な配置が図れるように改善する。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 学校における環境整備は学校教育の充実に結びつく。
有効性	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 教育環境の整備は市の責務である。
効率性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 障害を持った児童生徒は市内16校すべて在籍している。学級等の円滑な運営を図るためには、要望する学校への適切な配置が必要である。
公平性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 特別な教育的配慮を必要とする児童生徒は年々増加傾向にあるので、廃止した場合は、個人の学びや学級が成立しなくなる。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業はない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 教育補助員の1日当たりの係わる時間の削減が考えられるが、削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 各学校から申請のあった特別な教育的配慮を必要とする児童生徒に、教育補助員をつけているので、妥当である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	特別な支援の必要な児童生徒については、年々、障害の範囲も多様化している。配置する教育補助員の数も増やして体制を整えているが、今後も支援を要する児童生徒は増えることが見込まれるため、次年度においても、実態に応じた予算要望と、適正な任用事務を行ってきたい。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○	×																						
	低下		×	×																						
(6) 事務事業優先度評価結果																										
成果優先度評価結果		①																								
コスト削減優先度評価結果		⑨																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>